

2026. 9. 1

船舶ファイナンス残高 1,000 億円突破！ ～2023 年 4 月の取組開始から約 3 年で達成～

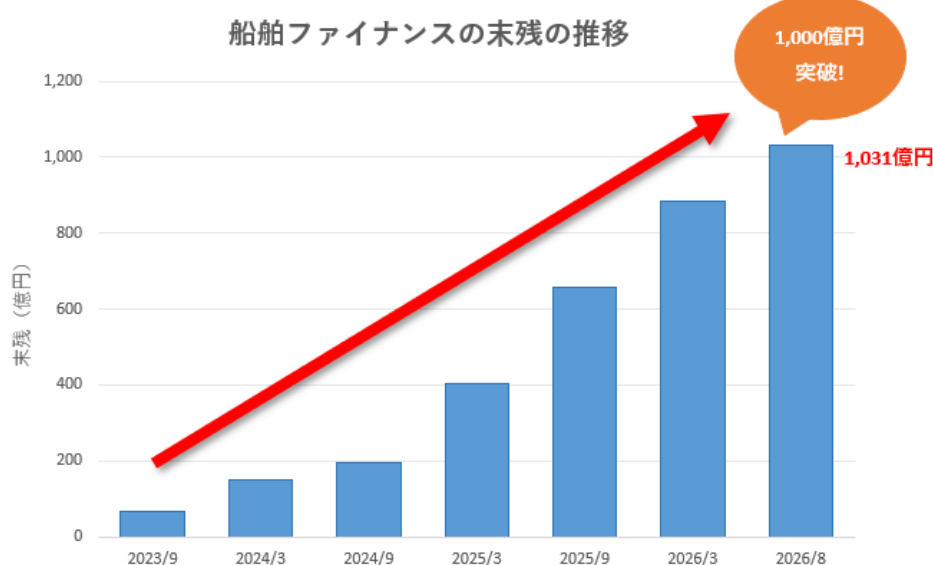
静岡銀行（頭取 八木 稔）は、2023 年 4 月より取り組んでいる船舶ファイナンスにおいて、2026 年 8 月末時点の取扱残高が 1,031 億円となり、1,000 億円を突破しましたので、お知らせします。

船舶ファイナンスは、しずおかフィナンシャルグループの第 2 次中期経営計画における「成長領域」の一つとして、成長性の高い分野に対する金融サービスの拡充に取り組んでいるもので、取組開始から約 3 年で 1,000 億円を突破するなど、事業としての成長を続けています。

1. 船舶ファイナンス残高 1,000 億円突破について

○静岡銀行では、2023 年 4 月より、静岡県外や海外の案件を中心に船舶ファイナンスへの取り組みを開始しました。

○2026 年 8 月末時点の取扱残高が 1,031 億円となり、約 3 年で 1,000 億円を突破しました。



2. 船舶ファイナンスに取り組む背景について

○海運業は、国際物流やエネルギー輸送を支える重要な社会基盤であり、海上輸送を支える船舶へのファイナンスは、日本の産業や地域経済を支えることにもつながります。

○さらに、静岡県には国際貿易港である清水港や御前崎港等があり、近隣には名古屋港も位置するなど、海運業は地域経済を支える重要な産業の一つです。

○また、環境性能の高い新造船等の船舶への融資を通じて、海運業界における環境負荷軽減や持続可能な社会の実現に貢献できる点も、船舶ファイナンスに取り組む意義の一つです。

3. 今後の取り組みについて

○今後も、船舶・海運会社への資金調達を支援するとともに、造船所や船用メーカーをはじめとする海事関連産業への資金循環を促進してまいります。

○また、環境性能の高い船舶へのファイナンスにも積極的に取り組むことで、日本の海事産業の持続的な成長を支えるとともに、世界の物流・エネルギー輸送への貢献を目指してまいります。